

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	災害対策について、年2回は開催しているが火災のみの訓練で地震・風水害の訓練を行っていく必要がある。	火災以外の災害時にも利用者を避難誘導できる方法を身につける。	防火管理者を中心にマニュアル作成に取り組む。 法人の年間行事に災害時訓練を盛り込む。 (月を決め2ヶ月/1回 ユニット単位で想定訓練を行なう)	12ヶ月
2	2	徐々にではあるが、地域との関係性を築けてきている様に感じられるが、特定の年代からだけではなく更に事業所の理解者や応援者を増やしていくことが課題	地域の方々との関係性を更に深める	・研修室の開放(積極的な声掛け) ・研修室を使つての講話の案内(利用者、地域住民、職員参加型のイベント開催) ・地域活動への積極的な参加 ・現行の活動継続	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。